

平成29年3月期 第2四半期決算説明会

平成28年11月11日



マイクロ天秤BMシリーズ

ご注意

本資料に含まれる予想に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、日本及び世界の経済動向、新たな技術開発の進展により変動することがあります。従って、当社としては、その正確性を保証するものではありません。

Contents

- 1.第2四半期(累計)業績の総括
- 2.第2四半期(累計)の概況
- 3.計測・計量機器事業 実績-1
- 4.計測・計量機器事業 実績-2
- 5.DSP事業の業績
- 6.医療・健康機器事業 実績-1
- 7.医療・健康機器事業 実績-2
- 8.財務分析(貸借対照表)①
- 9.財務分析(貸借対照表)②
- 10.設備投資・減価償却費の推移
- 11.29年3月期通期見通し
- 12.計測・計量機器事業 見通し-1
- 13.計測・計量機器事業 見通し-2
- 14.医療・健康機器事業 見通し-1
- 15.医療・健康機器事業 見通し-2
- 16~19.4つの成長事業について
- 20.水銀廃止条約による代替需要対応
- 21.新製品情報(健康機器)
- 22.創業者社長 古川 陽逝去
- 23.補足資料

第2四半期(累計)業績の総括

- 医療・健康機器事業を中心に売上堅調なもの、円高および米国のDSP機器不振により売上は前年割れ。
- 利益については、医療・健康機器事業の原価率の悪化で予想値を大きく下回った。
- 為替レートの変動等に対応し、8月4日付の第1四半期決算短信発表時に連結業績予想数値の修正を行っております（1米ドル¥115→¥105）。

第2四半期(累計)の概況

(単位：百万円)
コメント

連結損益	28/3期 2 Q累計	29/3期 2 Q累計	前期比 増加率	2 Q 当初予想	当初 予想比	2 Q 修正予想	修正 予想比	(単位：百万円) コメント
売上高	17,685	17,445	-1.4%	18,920	-7.8%	17,940	-2.8%	為替変動の影響 で前期比で減少
売上原価	9,896	10,044	+1.5%	10,570	-5.0%	10,160	-1.1%	医療・健康機器 事業の原価上昇
販売費及び 一般管理費	8,185	7,792	-4.8%	8,580	-9.2%	8,040	-3.1%	
営業利益	-397	-392	—	-230	—	-260	—	
経常利益	-441	-519	—	-390	—	-470	—	
税引き前 利益	-437	-520	—	-420	—	-500	—	
親会社株主に 帰属する当期 純利益	-369	-393	—	-400	—	-390	—	
1株当たり 利益(円)	-17.26	-18.41	—	-18.72	—	-18.25	—	

- (注) 1. 2Q当初予想は、5月13日付の「平成28年3月期決算短信」にて、2Q修正予想は、8月4日付の「平成29年3月期第1四半期決算短信」にて発表した予想であります(以下同じ)。
2. 小数点以下(百万円未満)は四捨五入で表記しています(以下同じ)。

計測・計量機器事業 実績－1



(単位：百万円)

セグメント		28/3期 2 Q累計	29/3期 2 Q累計	前 年 同期比	2 Q 当初予想	当 初 予想比	2 Q 修正予想	修 正 予想比
計測・計量 機器事業	売 上	11,298	10,777	-4.6%	12,020	-10.3%	11,370	-5.2%
	売上原価	6,466	6,395	-1.1%	7,000	-8.6%	6,740	-5.1%
	販 管 費	4,844	4,607	-4.9%	4,890	-5.8%	4,680	-1.6%
	営業利益	-12	-226	-	130	-	-50	-

1. DSP機器が国内での受注は堅調だが、米国での売上が振るわず。

⇒売上は前期比では4.6%減少

2. 売上の減少に伴い営業利益が悪化。

⇒営業損失が前期比では214百万円の増加

計測・計量機器事業 実績－2



(単位：百万円)

製 品 種 別	28/3期 2 Q累計	29/3期 2 Q累計	前 年 同期比	2 Q 当初予想	当初 予想比	2 Q 修正予想	修正 予想比
計 測 機 器	1,574	1,526	-3.0%	1,500	+1.7%	1,420	+7.5%
計 量 機 器	6,913	6,839	-1.1%	7,600	-10.0%	7,170	-4.6%
計測・制御・シミュレ ーションシステム (DSP)	2,495	2,060	-17.4%	2,420	-14.9%	2,290	-10.0%
電 子 ビ ー ム 関 連 ユ ニ ッ ト	316	351	+11.0%	500	-29.9%	490	-28.4%
売 上 合 計	11,298	10,777	-4.6%	12,020	-10.3%	11,370	-5.2%

計測機器

：粘弾性測定機、引張圧縮試験機等を中心に堅調に推移。

計量機器

：国内は日本アビオニクス(株)から譲り受けた工業計測機器の売上が付加されたものの、円高の影響による海外売上減少の結果、横這い。

D S P

：受注は堅調だが米国での業績悪化により売上は前期比で減少。

電子ビーム関連ユニット ： 電子ビームマスク描画装置およびマスク検査装置向けが堅調。 4

DSP事業の業績

(単位：百万円)

	用途種別	27/3期 (実績)		28/3期 (実績)		29/3期 (実績)
		上期	下期	上期	下期	上期
DSP事業	自動車・タイヤ関連	2,127	3,438	2,036	3,307	1,563
	試験機関連	34	56	44	55	54
	その他	237	407	415	561	443
	小計	2,398	3,900	2,495	3,922	2,060
既存事業への DSP技術応用	特殊試験機関連	86	509	218	209	95
	計量制御関連	163	173	232	288	244
	医療機器	2	29	2	22	16
	小計	251	711	452	519	355
合計		2,650	4,612	2,948	4,440	2,415
売上合計 (通期)		7,261		7,388		2,415

米国自動車向けおよび特殊試験機関連は振るわなかったが、その他の新分野でカバーした。

医療・健康機器事業 実績－1



(単位：百万円)

セグメント		28/3期 2Q累計	29/3期 2Q累計	前年 同期比	2Q 当初予想	当初 予想比	2Q 修正予想	修正 予想比
医療・健康 機器事業	売上	6,386	6,669	+4.4%	6,900	-3.4%	6,570	+1.5%
	売上原価	3,310	3,746	+13.2%	3,570	+4.9%	3,590	+4.3%
	販管費	2,642	2,596	-1.7%	2,950	-12.0%	2,700	-3.8%
	営業利益	434	327	-24.8%	380	-14.1%	280	+16.6%

1. 国内での水銀レス血圧計等の好調、および昨年設立したカナダ子会社の売上の付加などにより堅調に推移。

⇒売上高は前期比4.4%増加

2. ロシア子会社のGP率低下や、新製品の立ち上げ、ベトナム工場の立ち上げなどによる原価率悪化により、営業利益は減少。

⇒営業利益は前期比24.8%減少

医療・健康機器事業 実績－2



(単位：百万円)

製品種別	28/3期 2Q累計	29/3期 2Q累計	前期比	2Q 当初予想	当初 予想比	2Q 修正予想	修正 予想比
医療機器	1,239	1,480	+19.4%	1,450	+2.1%	1,410	+4.9%
健康機器	5,147	5,189	+0.8%	5,450	-4.8%	5,160	+0.6%
売上合計	6,386	6,669	+4.4%	6,900	-3.4%	6,570	+1.5%

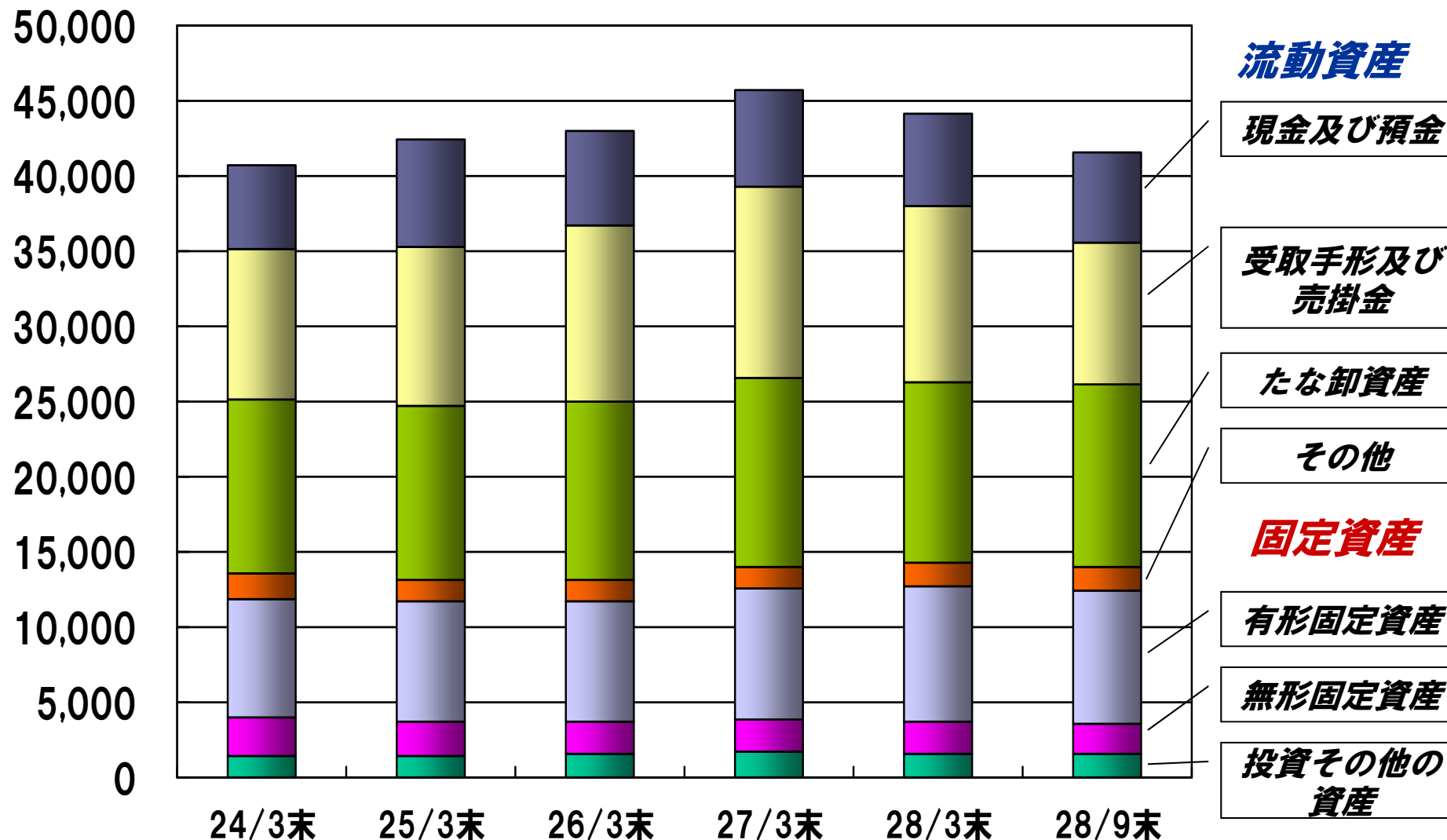
医療機器：国内の水銀レス血圧計を中心に好調で前年比大幅増。

健康機器：国内外とも売上好調な上、昨年設立したカナダ子会社の売上も付加されたが、ルーブル安の影響でロシア子会社の売上が現地通貨ベースでは伸長したものの、円換算で減少し横這い。

財務分析（貸借対照表）①

■ 貸借対照表分析 資産の部

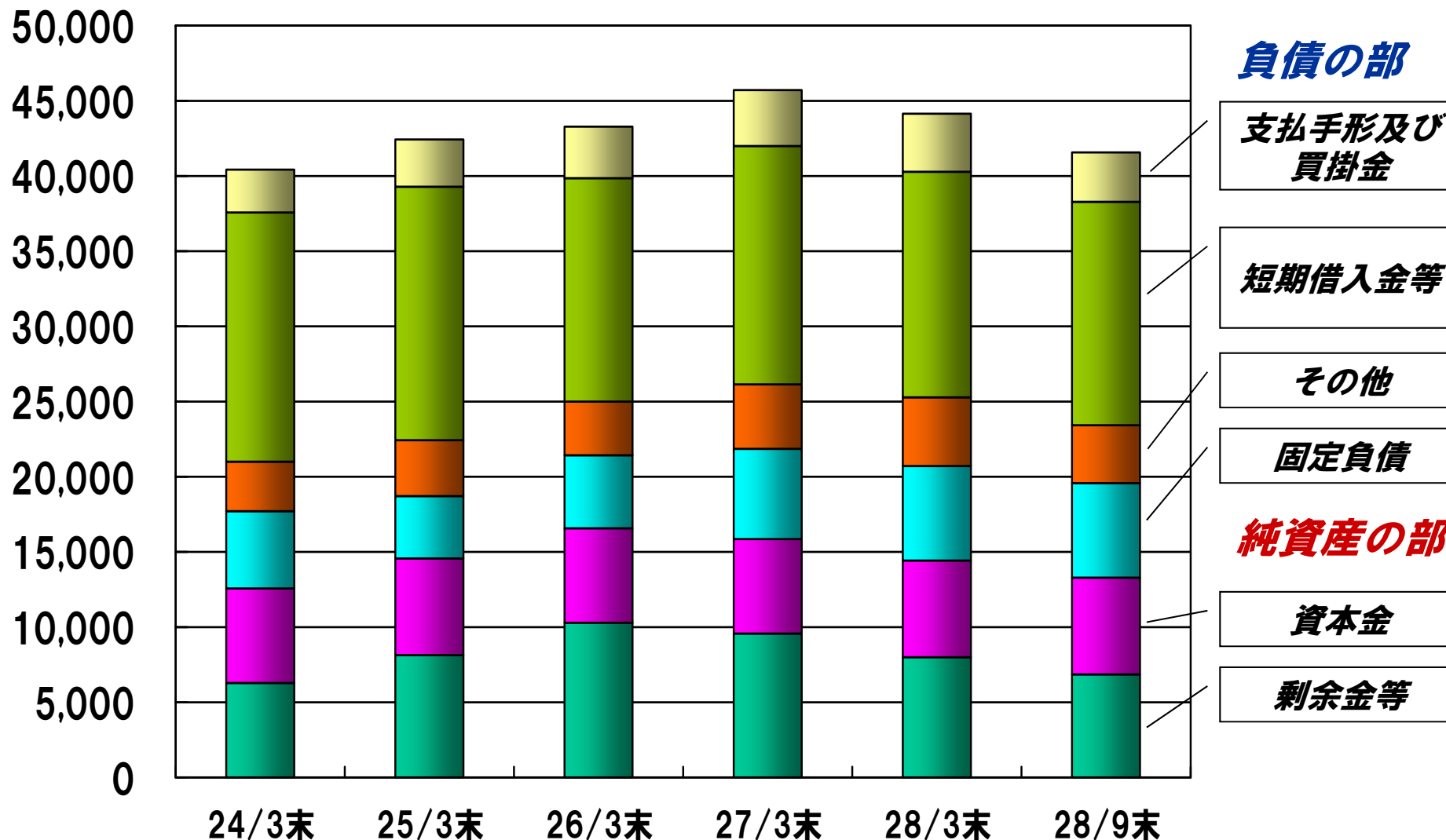
(単位：百万円)



財務分析（貸借対照表）②

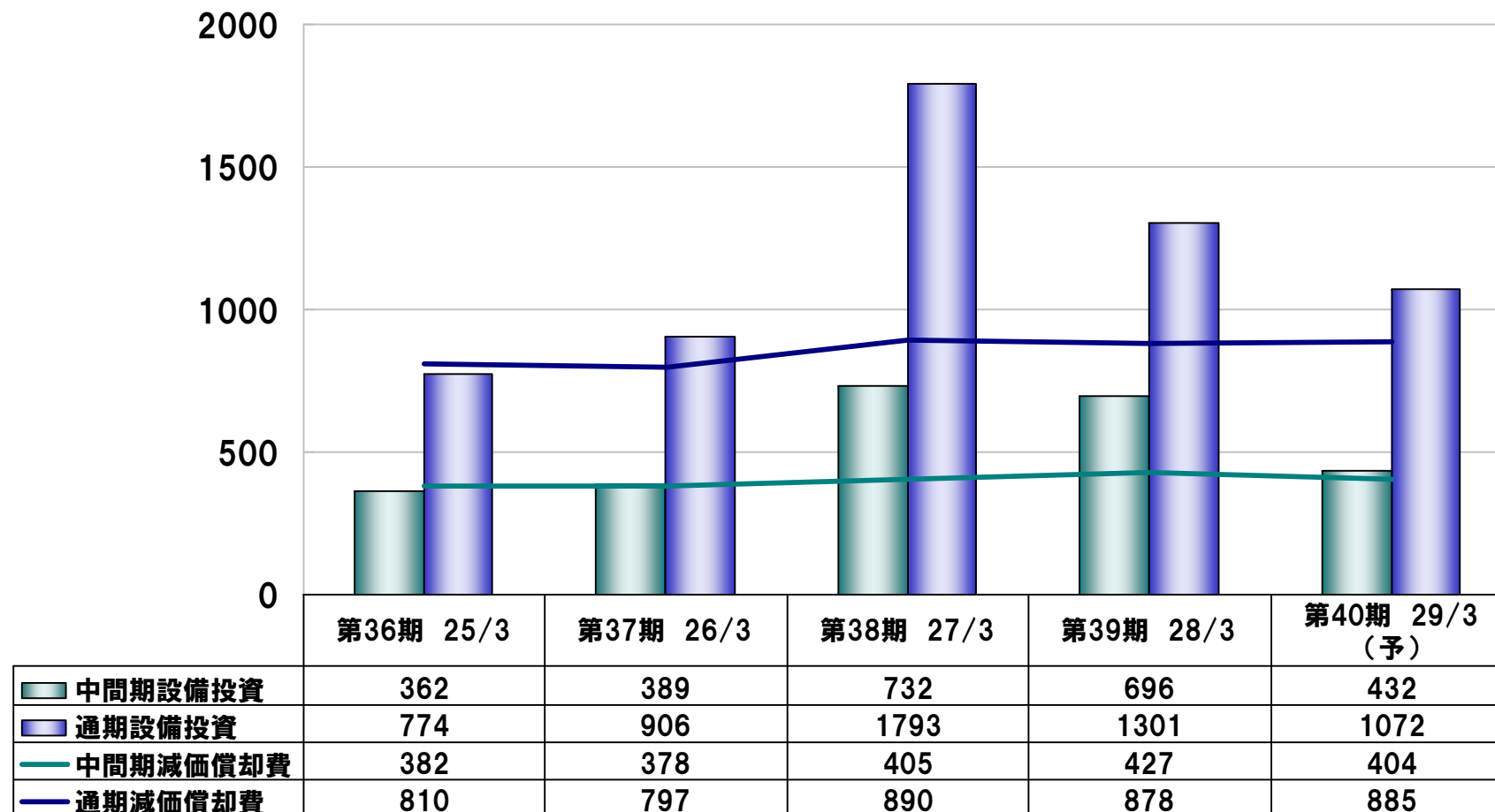
■ 貸借対照表分析 負債・純資産の部

(単位：百万円)



設備投資・減価償却費の推移

(単位:百万円)



第38期は大型試験機の組立工場新築・用地拡張、第39期はベトナム工場新設のため、設備投資が増加。

29年3月期通期見通し



(単位：百万円)

連結損益	28/3期 (実績)	29/3期		29/3期 (通期予想)	前期比
		上期実績	下期予想		
売上高	40,253	17,445	24,555	42,000	+4.3%
売上原価	22,664	10,044	13,906	23,950	+5.7%
販売費及び 一般管理費	16,445	7,792	8,358	16,150	-1.8%
営業利益	1,144	-392	2,292	1,900	+66.1%
経常利益	1,015	-519	2,089	1,570	+54.7%
税引き前 利益	990	-520	2,060	1,540	+55.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	448	-393	1,373	980	+118.5%
1株当たり 利益(円)	20.99	-18.41	64.27	45.86	+118.5%

(注) 1. 29年3月期予想は、8月4日付の「平成29年3月期第1四半期決算短信」にて発表した予想であります(以下同じ)。

2. 想定為替レート：1ドル=105円、1ルーブル=1.65円

計測・計量機器事業 見通し-1

(単位：百万円)

セグメント		28/3期 (実績)	29/3期		29/3期 (予想)	前期比
			上期実績	下期予想		
計測・計量 機器事業	売上	25,934	10,777	16,483	27,260	+5.1%
	売上原価	14,864	6,395	9,595	15,990	+7.6%
	販管費	9,638	4,607	4,733	9,340	-3.1%
	営業利益	1,432	-226	2,156	1,930	+34.8%

1. 売上

新規事業を展開している計量機器及び堅調な計測機器を中心に、前期比5.1%の売上増加を見込む

2. 営業利益

売上の増加に伴い営業利益が増加

計測・計量機器事業 見通し-2



(単位：百万円)

製品種別	28/3期 (実績)	29/3期		29/3期 (予想)	前期比
		上期実績	下期予想		
計測機器	3,953	1,526	2,594	4,120	+4.2%
計量機器	14,515	6,839	8,771	15,610	+7.5%
計測・制御・シミュレーションシステム (DSP)	6,417	2,060	4,320	6,380	-0.6%
電子ビーム関連ユニット	1,048	351	799	1,150	+9.7%
売上合計	25,934	10,777	16,483	27,260	+5.1%

計測機器：

- ・材料試験機および油圧試験機を中心に拡販

計量機器：

- ・他社との差別化が可能な金属検出機の拡販（アルミ包装内の検査、脱酸素剤入り容器の検査など）
- ・日本アビオニクス(株)から譲り受けた工業計測機器の代理店網を活用した拡販の推進

DSP：

- ・自動車・タイヤ関連のほか、新分野に拡販を展開

電子ビーム関連ユニット：

- ・電子ビーム等を利用した応用市場の開拓

医療・健康機器事業 見通し-1

(単位：百万円)

セグメント		28/3期 (実績)	29/3期		29/3期 (予想)	前期比
			上期実績	下期予想		
医療・健康 機器事業	売上	14,319	6,669	8,071	14,740	+2.9%
	売上原価	7,824	3,746	4,334	8,080	+3.3%
	販管費	5,475	2,596	2,854	5,450	-0.5%
	営業利益	1,020	327	883	1,210	+18.6%

1. 売上

ルーブル安による売上の目減りはあるものの、全般的に業績は好調なので、引き続き新製品の投入、新興市場の開拓等に努め、前期比2.9%の増収を図る

2. 営業利益

カナダでの新会社設立や中国工場の縮小移転に伴う販管費の増加があるものの、中国工場からベトナム工場への生産移管を進め、原価の低減に取り組み、営業利益は前期比18.6%の増益予想

医療・健康機器事業 見通し-2

(単位：百万円)

製 品 種 別	28/3期 (実績)	29/3期		29/3期 (予想)	前期比
		上期実績	下期予想		
医 療 機 器	2,815	1,480	1,520	3,000	+6.6%
健 康 機 器	11,504	5,189	6,551	11,740	+2.0%
売 上 合 計	14,319	6,669	8,071	14,740	+2.9%

医療機器：・水銀使用製品の規制に伴う水銀レス血圧計等の販売を推進

- ・新製品の投入による販売拡大

健康機器：・新製品投入および新興国市場の開拓促進

- ・IT技術活用により、スマートフォンユーザーおよび在宅医療・医療ICT（Information Communication Technology：情報通信技術）向け機器分野での売上伸長を図る

トピックス1 4つの成長事業について①

自動車・タイヤ産業向け計測・制御・シミュレーション機器 (DSP)

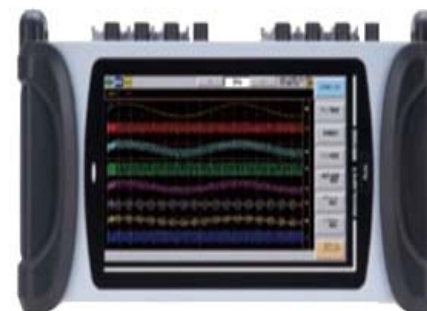
実車走行データから得た正確な計測データから高精度な車両モデル同定を行い、その車両モデルをベースに、実車台上テスト／ベンチテスト／部品テストなどを統合する次世代試験ツールを自動車・タイヤ関連メーカーに提供。ユーザーにおける開発プロセスの効率アップに貢献するソリューションが評価されております。



トピックス1 4つの成長事業について②

日本アビオニクス(株)から事業譲受した工業計測事業

- ・ 事業として譲り受けた旧三栄測器(株)のアンプとレコーダは数十年に渡って工業計測の要の測定器として普及し、「三栄」ブランドとして確立しており、継続して一定の売上が見込める事業です。
- ・ 今後は更に当社の保有する基盤技術とのシナジーを図り、特にDSP技術及び有限要素法との融合を図ることで、これまで難しかったユーザーの複雑なカスタマイズ要求への対応が容易な工業計測システムなど、高機能かつ競争力のある計測機器を開発・市場投入してまいります。



トピックス1 4つの成長事業について③

食品加工産業を中心とするウエイトチェッカ、金属検出機事業

- 当社の基盤技術を駆使した高感度センサ技術、AD変換技術、信号処理技術により他社との差別化を図ります。
- 国内においては既存の間屋ルートを活用に加え、食品メーカーを得意とする代理店、システムメーカーの開拓により、販売チャンネルを確立します。
- 海外現地法人での新規事業立上げにより早期販売展開を図ります。



トピックス1 4つの成長事業について④

マイクロ天秤やマイクロピペットを中心とした製品群によるラボラトリ市場

- ・ 生科学・製薬市場に於ける研究・開発の重要性の高まりを背景に、分析機器市場向けの製品として、日本で唯一のマイクロ天秤や、既存の電動ピペットの弱点（重い・高価etc.）を克服したマイクロピペット、高精度な再現性を実現した振動式粘度計など、ユニークな測定機器を市場投入し、好評を得ております。今後も市場の要望に応える製品を開発・提供することで同市場への更なる浸透を図ってまいります。



トピックス2～水銀廃止条約による代替需要対応

+ Mercury-free（水銀レス）医療用電子血圧計

地球環境と人への影響から、水銀を使用した製品は規制の対象となっていますが、医療の現場では歴史のある水銀式血圧計が数多く使用されています。当社では約10年前より水銀レス電子血圧計「スワンハート」シリーズを販売しお客様より非常に高い評価を頂いております。



〔水銀血圧計の市場規模〕

全世界で販売されている血圧計：約6,000万台／年

電子式血圧計：約3,000万台／年

水銀式およびアナロイド血圧計：約3,000万台／年

※少なくとも約1,000万台／年の水銀式血圧計の置換
（＝買い替え需要）が予測される

トピックス3～新製品情報（健康機器）

非接触体温計UT-701（でこピット）

- ・ 昨年発売した非接触体温計UT-701（でこピット）は、おでこに約1秒かぎすだけで体温測定ができる製品で、その手軽さから朝の忙しいときや、じっとしてられない子供の体温測定もすぐ済み、また、大人数の測定も短時間で行うことができるため、大変好評を得ております。
- ・ この度さらにユーザーフレンドリーな製品として、でこピットの「くまモン」デザインを投入いたしました。
- ・ 当社はこの「くまモン」デザインの売上の一部を2016年4月に発生した熊本地震で多大な被害を被った被災地への支援として、熊本県震災復興事業に寄付いたします。



訃報 創業者社長 古川 陽 逝去

当社創業者社長 古川 陽（享年73歳）は、平成28年7月14日、逝去いたしました。

古川 陽 前社長の逝去に伴い、10月20日、帝国ホテル東京・孔雀の間にて「お別れの会」を開催いたしました。

会場では森島 現社長が参会者をお迎えし、創業時の仲間たちも全国から駆けつけました。約800名が献花し、早すぎる別れを惜しみました。

故人は常に真実と正面から向き合い、本質を見極め分析し、それに対処してきました。経営姿勢は、「本物」にこだわり、あきらめずにやりぬくというものでした。

故人の遺志を受け継ぎ事業を邁進しつつ、経営哲学を継承し「本物」を追及してまいります。



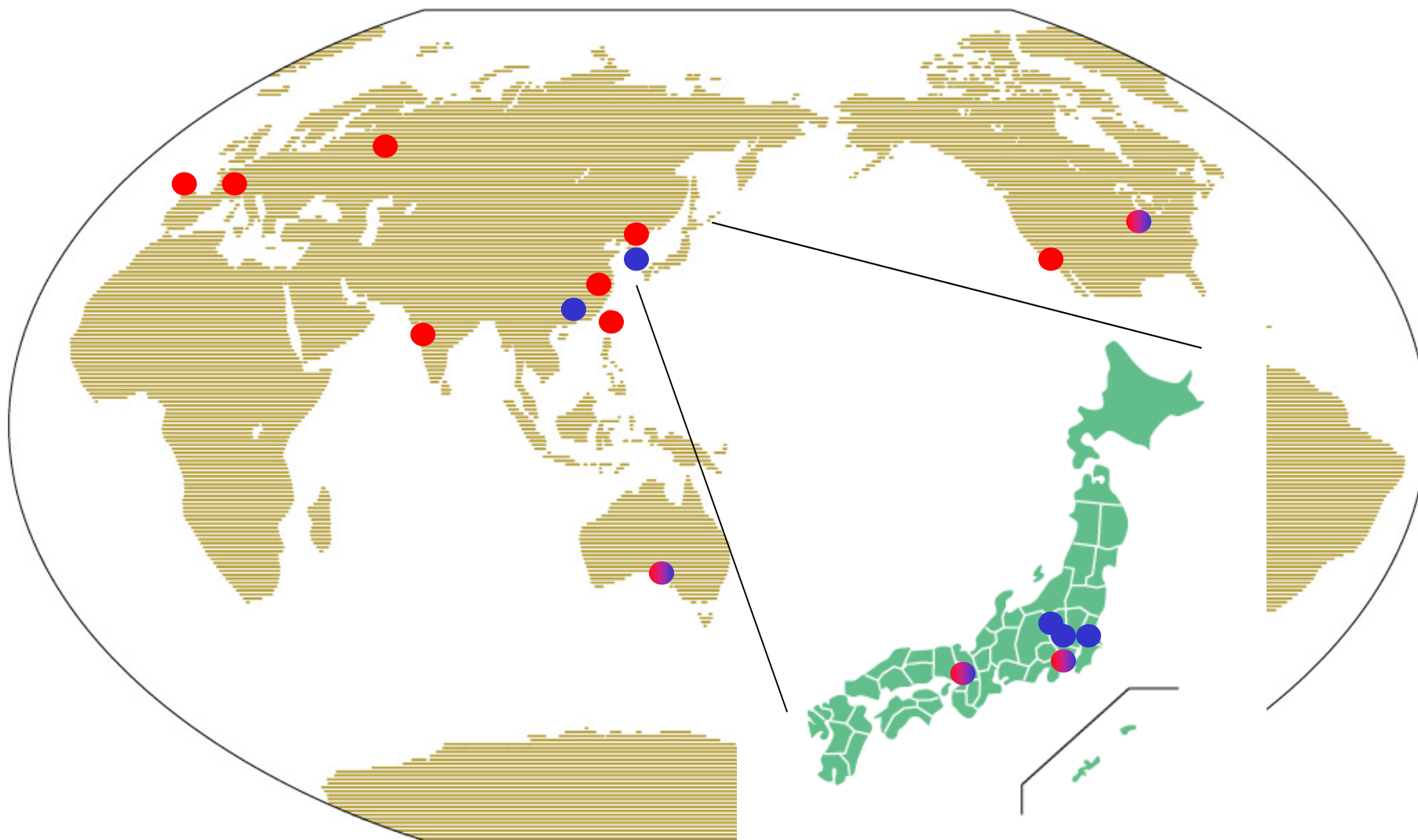
AND
株式会社 **エー・アンド・ティ**

補足資料



- 1 グループの概要
- 2 製品紹介（計測機器）
- 3 製品紹介（計量機器）
- 4 製品紹介（医療・健康機器）
- 5 DSPシステムとは（1）
- 6 DSPシステムとは（2）
- 7 DSPシステムの採用事例－1
- 8 DSPシステムの採用事例－2
- 9 DSPシステムの採用事例－3
- 10 電子ビーム関連ユニット
- 11 工業計測機器
- 12 開発の状況

グループの概要



A & Dは開発および販売を中心に活動
生産主体は国内外関係会社
海外販売は関係会社経由と直販を併用

- 生産・開発関係会社
- 販売関係会社

製品紹介（計測機器）

種 別	概 要	主 要 製 品
波 形 解 析	音・振動等時間的に変化する物理信号を収集および解析	波形解析システム、FFTアナライザ、データロガー
非破壊検査機器	超音波を利用して溶接欠陥や亀裂・腐食等を調査	超音波探傷器、超音波厚さ計
材 料 試 験 機	材料・部品の引っ張り圧縮強度や粘弾性・粘度を測定	引張圧縮試験機、動的粘弾性測定機、粘度計、摩擦摩耗試験機
電 子 計 測 器	プロからホビーや家庭まで、多種多様に取り揃えたデジタル電子計測機器	オシロスコープ、デジタルマルチメータ、タイマー、温湿度計、直流電源、壁内センサーetc.
油 圧 試 験 装 置	油圧サーボ機構を応用した各種試験装置	油圧式疲労試験機、油圧式振動試験機、油圧加振機等
環 境 計 測 機 器	各種排気ガス濃度測定器を始めとする環境計測機器	エンジン排ガス計測機器、燃料電池関連計測機器、各種ガス分析計等



万能材料試験機



動的粘弾性自動測定器



車載型リアルタイム
振動・騒音解析システム

熱中症計



超音波探傷器

製品紹介（計量機器）

種 別	概 要	用 途 等
電子天びん	軽量の物体の質量を高精度に計量する機器で、最大0.001mgまでの計量が可能	医薬品や精密材料等を対象に、研究開発向けから生産・検査まで幅広く使用
電子台秤	中・重量の物体の重量を計量する機器で、防水、防塵、防爆等、様々な環境に対応	厳しい環境下で使用される産業用から家庭で使用されるものまで、幅広い製品群をラインナップ
インジケータ	計量センサから得た信号を質量や力としてデジタル表示、及び制御を行う	粉・粒状物体の自動計量システム、台秤、トラックの積載量を計量するトラックスケール等に使用
ロードセル	金属製の起歪体に加わった荷重による歪みを検出して、電気抵抗値に変換するセンサ	台秤、トラックスケール、フックに吊り下げて計量するクレーンスケール、その他特殊用途に使用
ウェイトチェッカ	コンベア搬送中の物品の計量及び制御を行う	製造ラインでの商品の全数検査の自動化や、質量の検査、質量による選別に使用
金属検出機	電磁誘導等を利用して被検査物内の異物（金属）の検出を行う	食品・医薬品等製造・加工工程における異物の検出に使用



製品紹介（医療・健康機器）

種 別	概 要	主 要 製 品	特 徴 等
病 院 用 デジタル血圧計	医療機関 や高齢者 介護施設 向血圧計	携帯型自動血圧計	24時間の日常生活での血圧変動を測定
		血圧監視装置	SpO2(動脈血酸素飽和度)と血圧を同時監視
		バイタルセンサ	血圧・体温・SpO2・ECG等バイタルサイン測定
		全自動血圧計	腕を入れるだけでワンタッチ操作の自動測定
メ ディ カ ル 計 量 器	医療機関 や高齢者 介護施設 向計量器	身長体重計	身長・体重をデジタル測定、肥満度等も表示
		ベッドスケール	治療時の体重変化を測定、監視、記録
		バリアフリー スケール	フラットな計量台、車イス乗車のままや、手すり につかまった状態で安全に計測
健 康 機 器	在宅での 健康管理 用機器	デジタル 上腕式 血 圧 計	血圧測定に不規則脈波検知、音声等も付加
		手首式	小型・軽量サイズで外出先でも手軽に血圧測定
		超音波吸入器	温熱、加湿効果でノド、鼻の不快感を緩和
		体 重 計	50g単位、肥満・痩せの基準BMIも表示

上腕式家庭向血圧計

バイタルセンサ



超音波吸入器

家庭向体重計



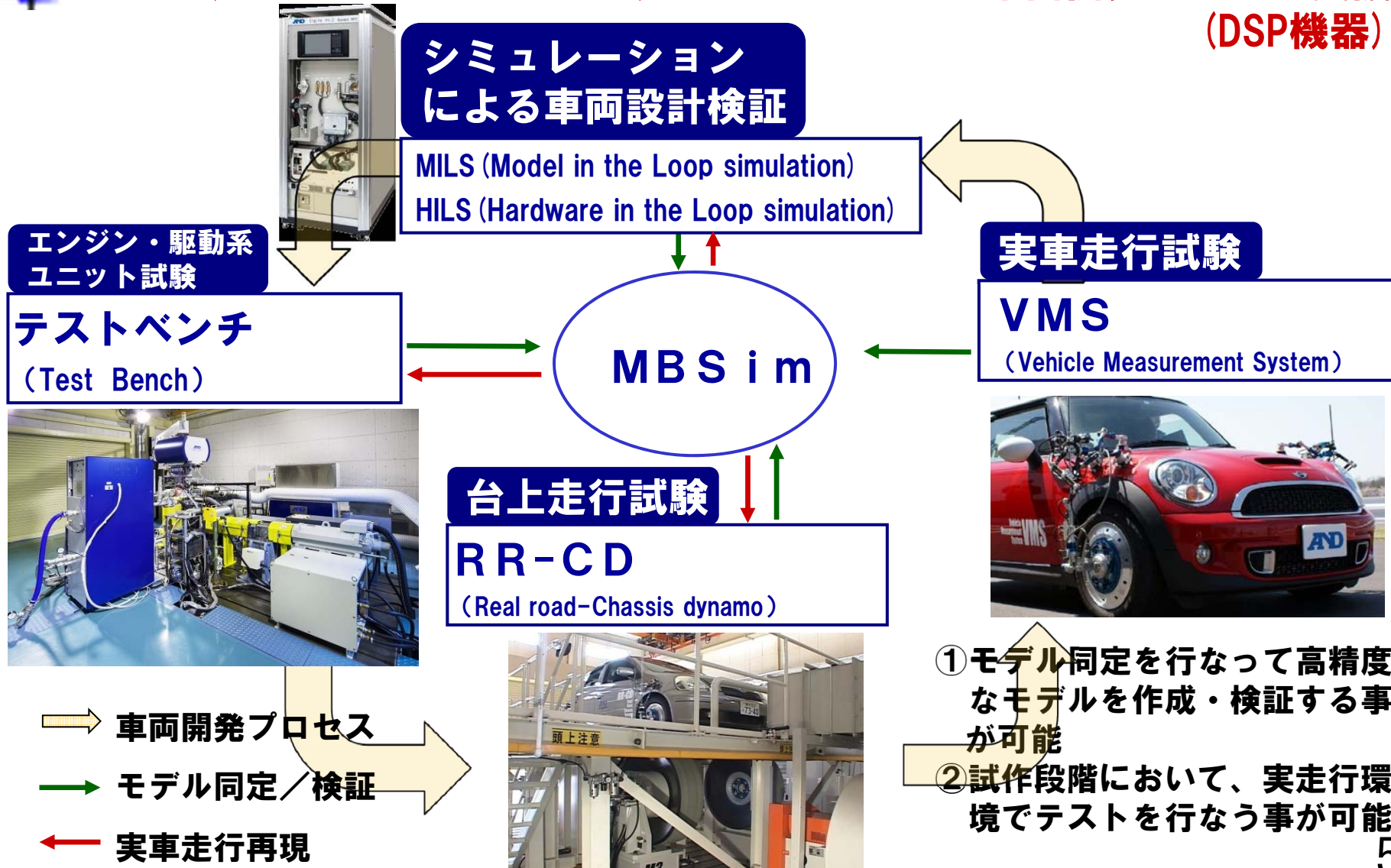
全自動血圧計



ストレッチャー
スケール

DSPシステムとは(1)

MBSim (Model Based simulation) コンセプトによる車両開発プロセス支援 (DSP機器)



DSPシステムとは（2）

テストベンチシステムについて

■ テストベンチシステムの特徴

◇自動車等の複雑な製品の開発・生産現場において、開発期間の短縮・ローコスト化を実現する画期的なシステムです



エンジンの試作品

つないでテストする



エンジン以外の車両部分をコンピュータにモデル化

エンジン以外の部分が完成していなくても、エンジンを実際の車両に搭載した場合を想定したテストを行う事が可能

■ 対象となるマーケット

◇自動車メーカー及び部品メーカー

※国内自動車メーカーはほぼ全ての会社に参入済み
アメリカはM&A、欧州は業務提携で世界にも進出

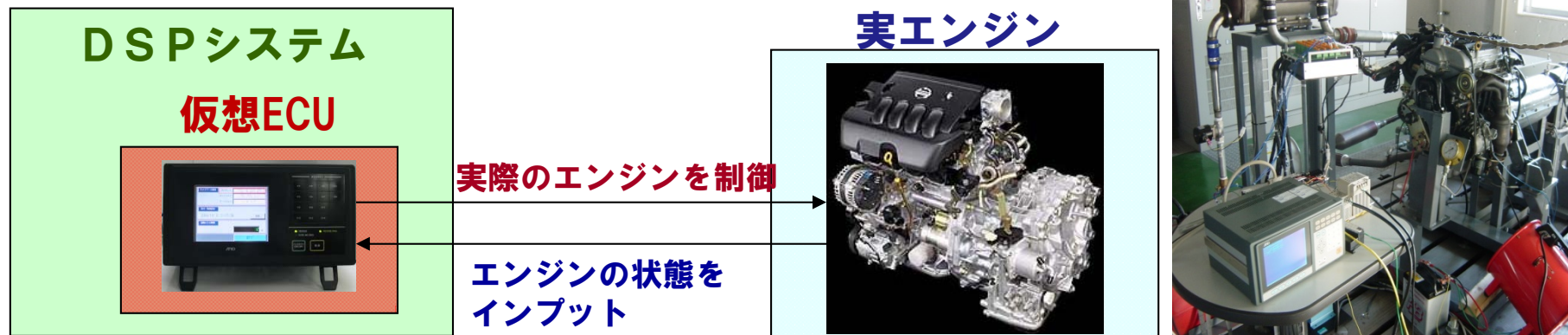
◇航空・宇宙産業やロボット産業

※現在エンジニアリングノウハウを吸収中

DSPシステムの採用事例－1

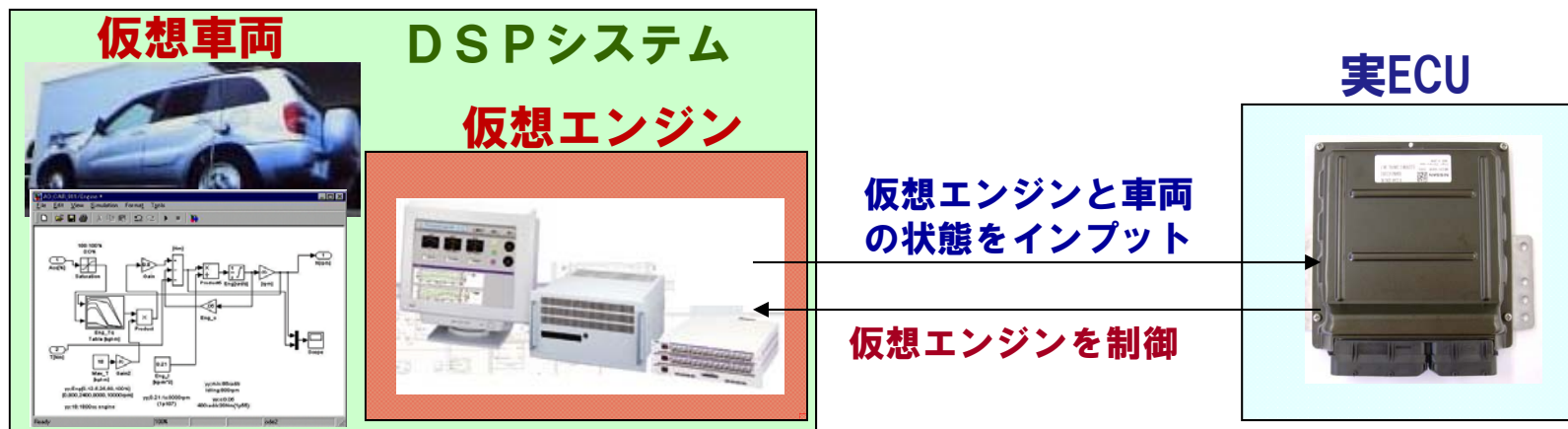
RPT (Rapid Proto Type)

コンピューター上にECUの試作モデルを作成して、実際のエンジンを制御してテストを行う



HILS (Hardware In the Loop Simulation)

コンピューター上に仮想のエンジンや車両のモデルを作成して、試作品のECUのテストを行う



DSPシステムの採用事例-2

ORION

適合支援自動計測
ソフトウェア

1. 適合とは

ECU開発プロセスで、ECUがエンジンや変速機などの制御を最適に行うためにECUの設定作業（チューニング）を行うこと。

2. ORIONの特徴

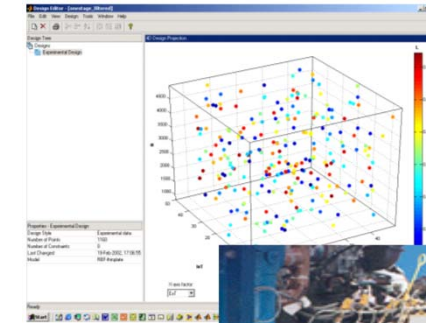
・フレキシビリティ

カスタマイズが容易で、ユーザーが計測アルゴリズムの作成等、各自の仕様に合わせて設定を変更出来る

・オープン性

他のシステムとの接続が可能であり、今まで使用していた資産の有効活用が可能

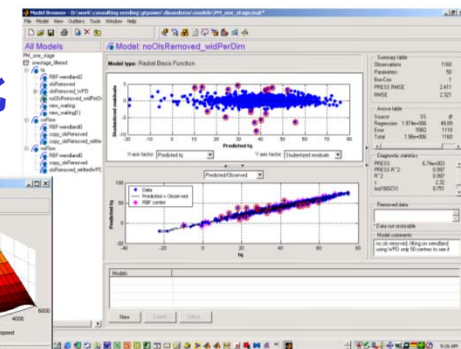
実験計画



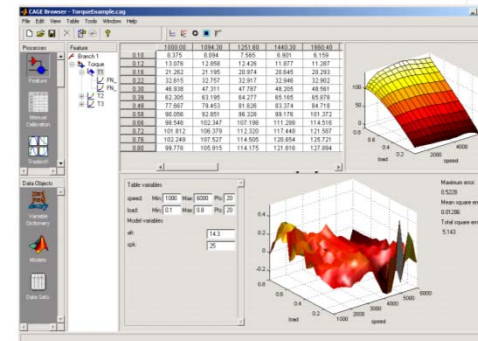
評価試験



ECUのモデル化



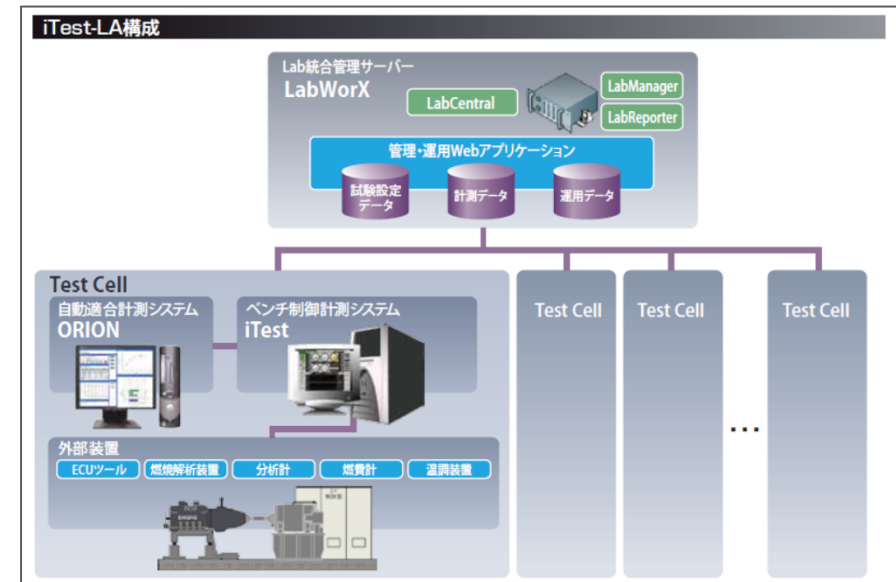
適合



DSPシステムの採用事例－3

統合開発環境（iTest-LA）について

iTest（適合試験、性能試験に必要な標準アプリケーション）を中心とする、開発試験運用全体をトータルでサポートするシステム。
試験運用全体での効率化や、将来を見据えた拡張が可能なシステムを提供。



《統合開発環境を構成する製品群》

- LabWorX
設定、試験運用管理、遠隔モニター、データ管理機能を持つ**サーバーシステム**
- ORION
高品質なDoEモデリングが可能な**適合自動計測システム**
- iTest
ベンチの基本計測・制御システム（LAシステム/Ausy）
- ANDROMEDA
過渡試験（モード、Simulation運転）に対応する **ベンチ制御コントローラー**

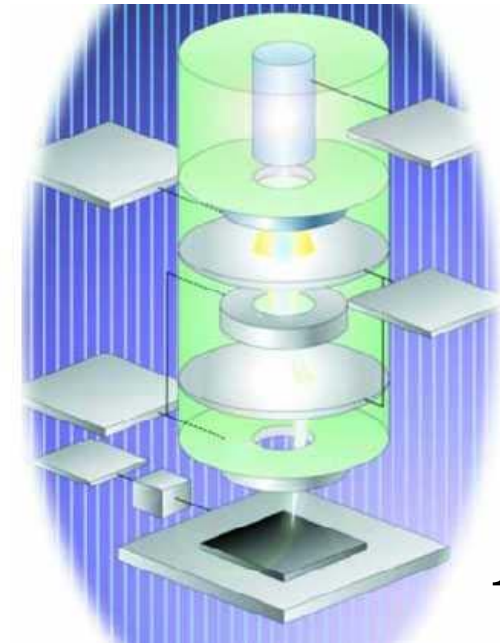
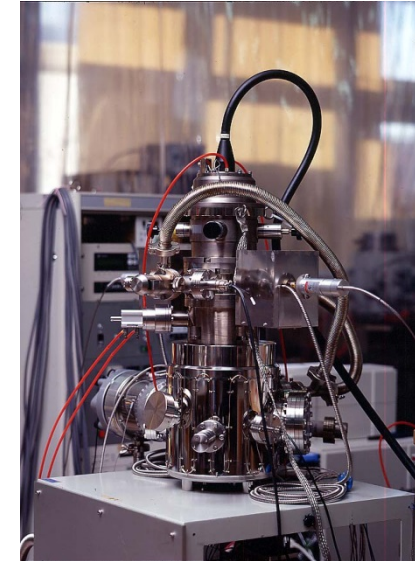
電子ビーム関連ユニット

電子ビーム関連ユニット

微細な半導体の回路を描画するための手段として、主にマスク製造（半導体のネガの様なもの）に電子ビームが利用されておりますが、当社は電子ビーム露光装置に組み込む基幹ユニットを半導体露光装置メーカーに提供しています

当社が提供する主要なユニット

- **ビーム偏向回路**
電子ビームの照射方向を制御するもので、精度・速度ともに世界最高水準です
- **電子銃**
電子ビームを発生させる設備で、世界でもトップクラスの出力と安定稼働率を備えています

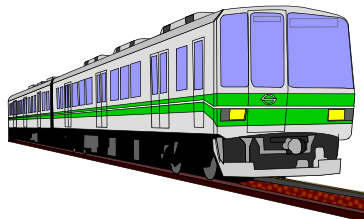


工業計測機器

アンプ



列車走行試験

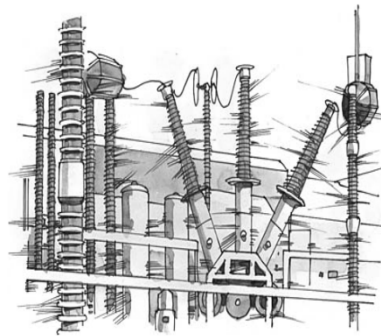


列車走行安全測定装置

レコーダ

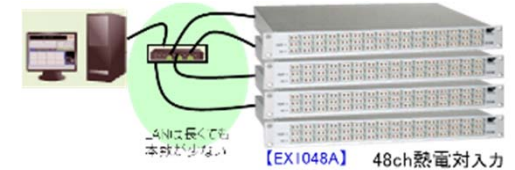


鉄・非鉄のライン点検

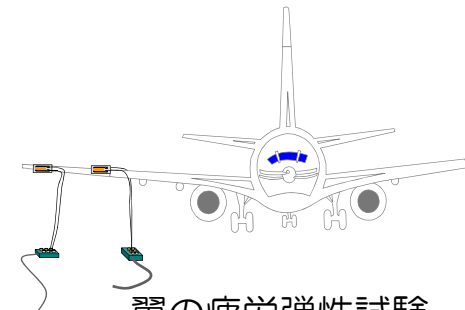


遮断試験、CVCF・UPSの異常測定

ロガー



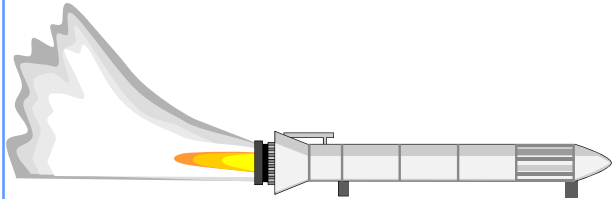
大型建造物、橋梁、橋桁の疲労試験



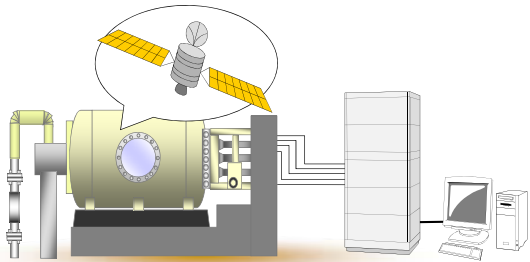
翼の疲労弾性試験

工業計測機器

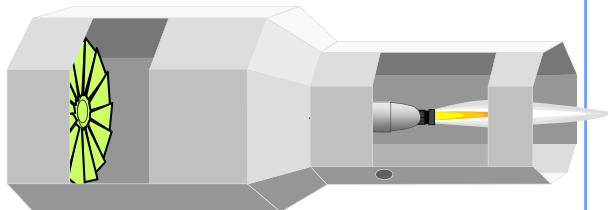
航空・宇宙向け



ロケットエンジン燃焼試験装置

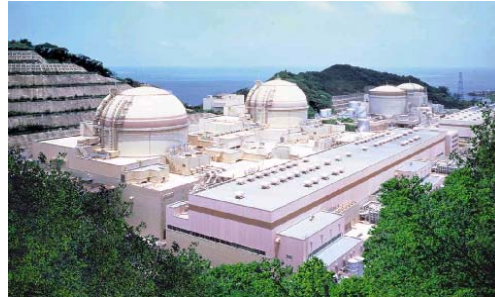


真空チャンバ内での熱負荷試験



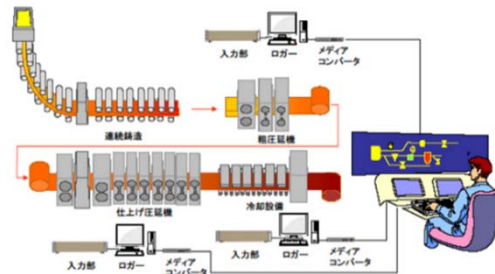
燃焼風洞実験計測システム

原子力・電力向け

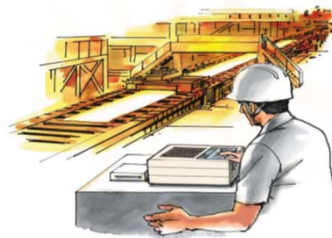


原発の過度現象測定システム

鉄鋼向け

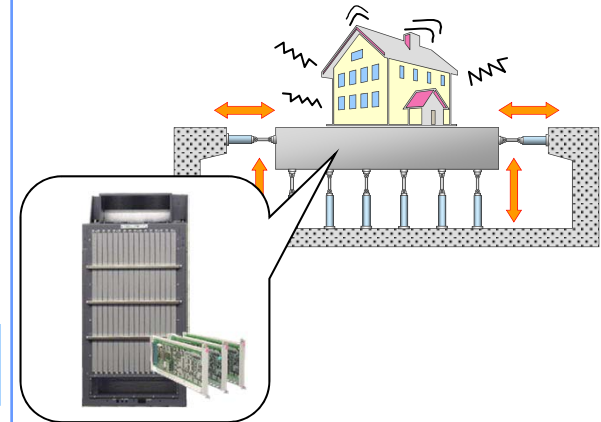


圧延ライン用分散計測システム

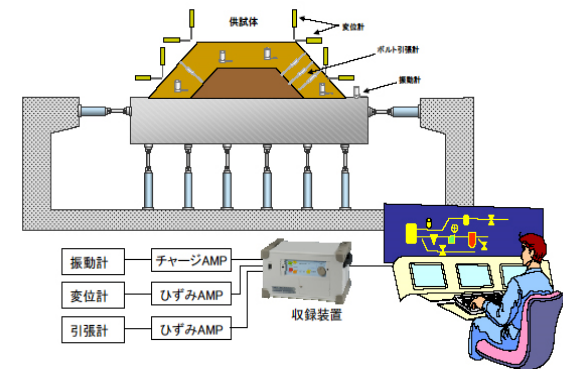


品質管理用計測レコーダ

ゼネコン・重工向け



大型振動台 データ測定システム



地滑り実験計測システム

開発の状況



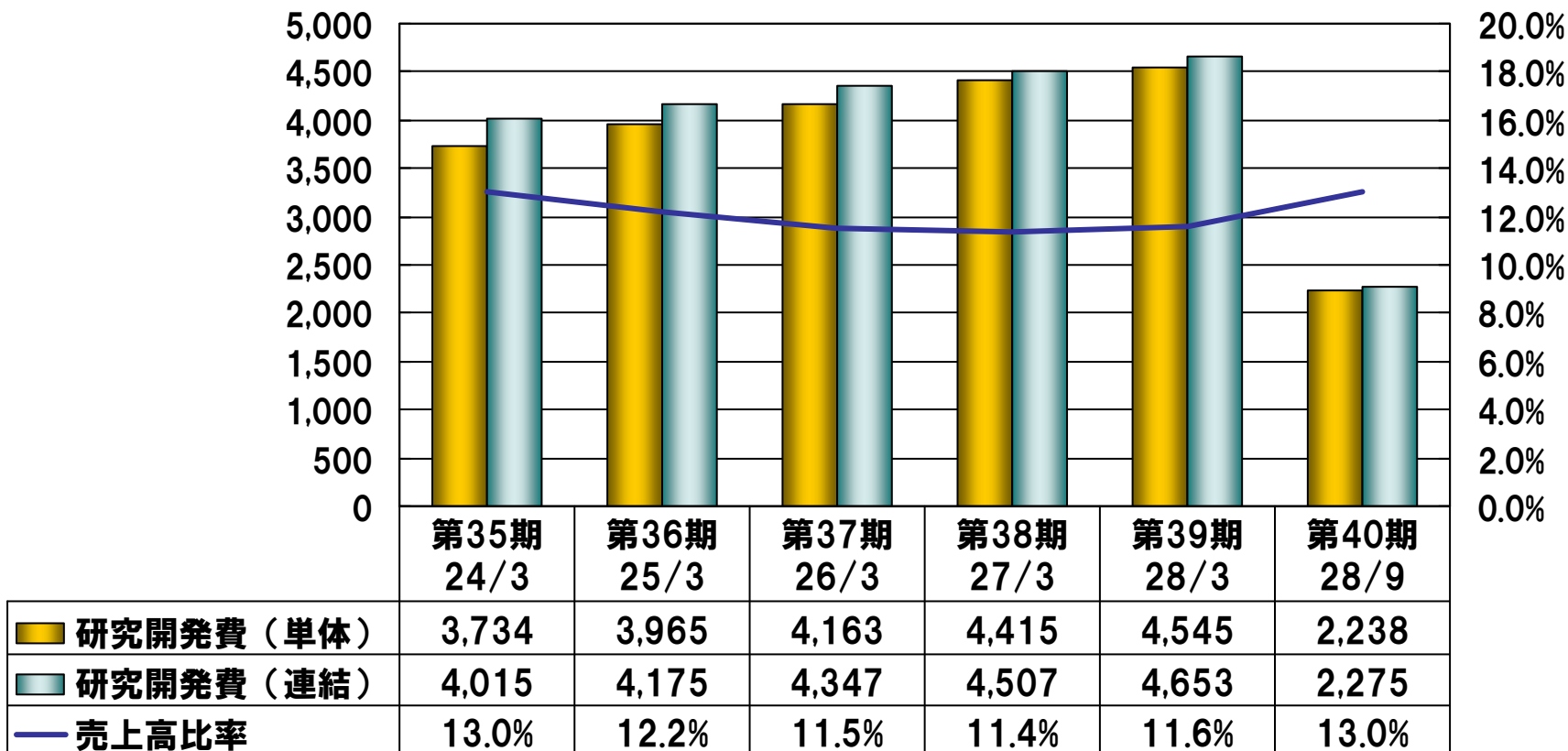
社内資源の多くを開発に投入し、
各事業分野で継続して開発を実施。

(平成28年9月末/A & D単体)

開発人員数 382名

開発人員比率 53.4%

研究開発費
(単位：百万円)



※売上高比率は連結ベースで算出

AND
株式会社 **エー・アンド・ティ**